

元気のみなもと

千葉県千葉市立花島小学校 五年 飯田 陽斗

ぼくは、みかんが大好きです。みかんを食べると元気がでます。

ぼくは、小学4年生まで長崎県の長与町という海と山に囲まれた自然豊かな町で育ちました。長崎県は、温だんな気候で平地が少なく山のしや面を多く利用して昔からみかんのさいばいがさかんです。町の人からも愛されているみかんは、長与町のイメージキャラクターになっています。

みかんは、だいたい九月から春先まであり、秋になると長与町のいたる所でおいしいみかんが売られています。ぼくは習い事の帰り道に母さんにもらった百円玉をにぎりしめて道ばたで売っているみかんを買うのが楽しみでした。

小学校の給食では、きょう土料理として、みかんを使ったみかんずしがたまに出ました。初めてその名前を聞いた時ぼくは、「みかんにご飯は合うのかな？少し食べるのがこわいな。」と思いました。チャイムがなって給食が始まり、みかんずしを目の前にして「キレイだな。おいしそうだな。」と思いました。さっそく食べてみるとぼくの予感の外れ、口の中においしさが広がり、はしが止まりませんでした。

現在ぼくは、千葉県に住んでいます。ひっこして来て最初はさみしくて、長崎にもどりたくて泣いていました。でもある日、お母さんとお買い物に行つてみかんを買いました。家に帰つてさっそくみかんを食べました。やっぱりみかんはおいしくてなつかしくなりました。長崎のみかんも千葉で買ったみかんもぼくを元気にしてくれました。ぼくは、このおいしいみかんを作ってくれるみかん農家の人達に感謝しています。みかんは今日もぼくを元気にしてれています。